

大阪みなみ・なにわの街を探索

- ・日時 2012年9月7日(金)
- ・集合 難波 高島屋前
- ・行程 高島屋前より戎橋までみなみの街を探索
- ・参加者 37名

【行程】

- 10:20 難波 高島屋(1F)前集合
- 10:30 道具屋筋商店街探索、なんばグランド花月
- 11:00 ワッハ上方
- 12:30 法善寺、水かけ不動尊 (昼食)
- 13:20 上方浮世絵館
- 14:30 戎橋、道頓堀川
(オプション; なんばパークス 屋上庭園)

こてこての大阪が残っている「みなみ・なにわの街」は「きた」のスマートさとは大違いです。

時代の流れや環境変化にどう対応しているのでしょうか。変わらず生き続ける店、大きく変貌し生き続ける店、進化発展する店、外来種の店などごった煮の街は見る人にいろんな想いや感慨を持たせてくれます。

コメントにもありますように、一昔前の悪臭漂う道頓堀川などの悪名高かった都市環境も一変されていました。

今回の記録は従来とは異なり、3班参加者の写真とコメントを中心にまとめてみました。



さあ～これから出発しよう！

道具屋筋商店街（なんばグランド花月）

道具屋筋商店街；食の商売を始めようと思えばここへ来れば何でもそろう。
なんばグランド花月；桂三枝が第6代桂文枝の襲名披露を行う。



時の変化を感じさせない商店街



やはり男性諸君の興味は刃物みたいですね



このドギツイ刺激的な色彩！
思わず「子供たちの環境」？は・・・



ホッとする「のれん屋」さん



なんばグランド花月で文枝（旧桂三枝）
と記念撮影をする。
後ろからアホの坂田も参入
こんなサービスで大阪にも人が集まり
元気になれば良いですね。

ワッハ上方

ワッハ上方；上方のお笑いの歴史や資料を集め演者の録音・ビデオなどを多数集めて展示、公開



講義より真剣な雰囲気ですね



なんばグランド花月への出演は何時？



昔の雰囲気が満ちています。
(ワッハ上方の展示物)
頓堀に行く人たちの表情が何とも
言えません
(写真が小さくてすみません)



「どこに行ってもガイドの方の説明は有難いものです」
青木さんと谷口さんのお二人、有難うございました。
「隣の家に囲いができたって？」
「へえ～！ かつこいい～！」



集合写真（ワッハ上方にて）

法善寺、水かけ不動尊

法善寺 水かけ不動尊：演歌でお馴染みの食い倒れ大阪の本場



緑のコケが暑そうな水かけ不動さん



昼の法善寺横丁は寂しげ



「すし半」のお弁当は 1000 円で値打ちがあった。
何よりゆったりとできたのが良かった。

私設上方浮世絵館

上方浮世絵館；歌舞伎芝居や人気役者を描いた上方浮世絵を展示
思い入れの館長が私設で開館



上方浮世絵文化を残そうと私設で開館
熱意を込めて説明される高野館長と
狭いので胡坐をかいて聞く環境科員



高野館長さんいろいろと有難うございました。



探索の街角にて

- ・千日前～法善寺横丁～法善寺水かけ不動尊
- ・戎橋商店街～道頓堀通り



食い倒れの太郎さんが、
エコで頑張っている姿に感動！



大阪と言えば「たこ焼き」
店員さんの掛け声と笑顔
それに手さばきについ足が止まります。

戒橋、道頓堀川

戒橋；一昔前の阪神優勝の時、パフォーマンスで川へ飛び込む者が多数いた。

橋は架け替えられ、長さ 800mのプールを作ろうとする計画もある。



道頓堀の兩岸に散策路ができて、心地よい風。
水上バスが、濁りのない、無臭の波を立てて
目の前を通り過ぎて行きました。

戒橋より西方を望む

まさに隔世の感！

50 年前の悪臭を放ち、ごみが浮き、泡がブクブクとしていた川とは思えません。

環境行政のなせる業？



(記録作成者のつぶやき)

9 月度の野外活動については費用、環境と観光、宗教的行事などにつき、3 班内でいろいろと議論をしてきました。公害、原発、自然環境だけが環境・環境問題ではなく、人間が自然と共生していくための原点が大切であり、環境という言葉には人間の生活、歴史、文化も含まれているのではないのでしょうか。

今回の企画も観光として見ればそれまでですが、環境という観点から見ると非常に興味深いものだったと感じています。

この記録は 3 班の参加された皆様から写真とメモを提供して頂き、それを取りまとめるという新しいやり方を試みました。作成者が未熟で満足できるものではありませんが、皆様のご意見を頂いて改善し、新しい記録スタイルになっていけたらと思っています。

以上

企画・世話役/伊月

写真・コメント/3 班の皆様

文責・まとめ/白川